

○ 環境を通して行う教育の中の学び

① 生活・遊びの充実

【年少児】

入園してすぐは不安がいっぱいです。先生の傍や砂場などの安心する場所で過ごしながら、居場所を探していました。朝の準備に気持ちが向かない子もいますが、幼稚園ではお家から着てきた制服は心の居場所として受け止め、自分から着替える姿を待つことも大切にしています。折れない心が育つまでじっと待ち続けます。

5月中旬、居場所が少しずつ見つかり、友達と同じことをしてみたり、会話をしたりと小さなやり取りが始まりました。また、水や砂に親しむ中で楽しさを感じ、何度もやってみる姿が生まれます。園庭の草花や作ること描くこと等、様々なものやことと出会う環境の中で、どんどん世界が広がっていきました。年長・中児の姿も驚くほどよく見ています。虫取りや色水づくりなど、見よう見まねでやつてみると、「面白いな」と感じたり「不思議だな」と考えたり、優しく教えてもらって嬉しさをため込んだりと、何事にも代え難い体験をしています。

【年中児】

全身のバランス能力が発達てくる時期。思い切り園庭を駆け続けたり、様々な材料や道具を自在に用いて作ったりすることを楽しむ中で、「明日も〇〇がしたい」「〇〇ちゃんと一緒に遊びたい」という気持ちが膨らんでいました。毎日繰り広げられる水戻や砂場でのコースづくりは、ルールが作られたり、壊れにくい構造になっていったりと、試行錯誤を繰り返しながら協同してつくった過程が見て取れました。今年は連日、砂場から園庭へ流れる大河が出現。「悪魔の河」と名付けて、水の行方や泥・砂・水の感触を十分に楽しみました。

想像する力も豊かになり、大好きなヒーローやプリンセス、お化けなどになりきることも楽しみました。その中で、少しずつ友達と役割や役柄を合わせようと話し合う姿が見られはじめ、イメージの世界が広がっていく面白さとともに、友達と一緒に創り上げていく充実感を存分に味わっていた子供たちです。



先生の傍で



心ゆくまで泥に親しんで

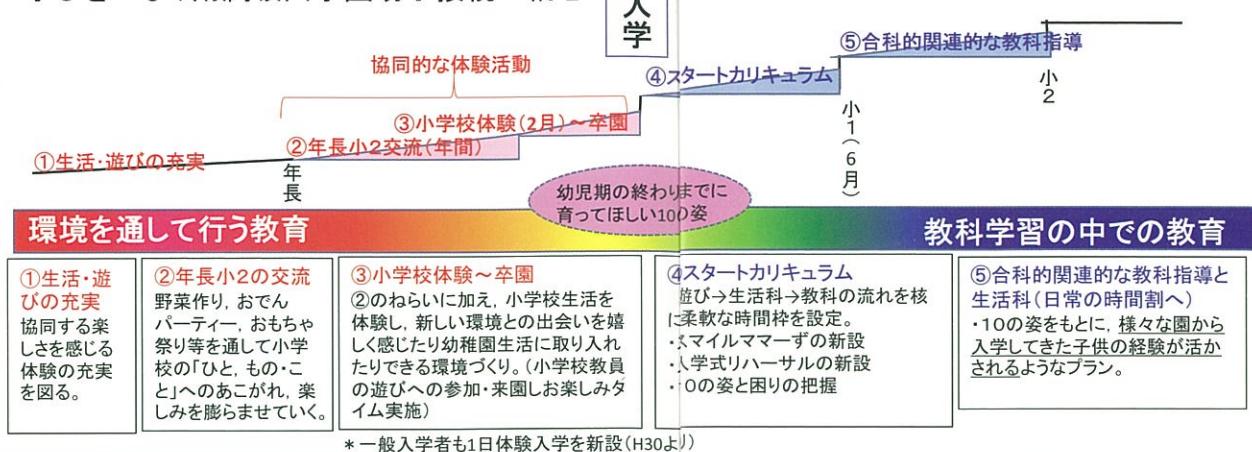


発見！悪魔の河の終点はここだ



忍者に変身

学びをつなぐ附属坂出学園幼小接続の構想



② 年長児・小学2年生の交流

虫取りや泥団子づくりの技術は天下一品。けんかの仲裁から行事の準備まで、なんでもできる頼れる年長児です。年中児や年少児から向けられる憧れの目を感じ、ため込んだ自信が、これから挑戦や試行錯誤、考え合う姿の根っこになります。

5月から、2年生との交流活動が始まりました。一緒に遊んだり活動したりする中で、2年生の工夫する姿や伝え合う姿、表現する姿などから刺激を受け、幼稚園の生活に知恵と活力を入れ込んでいます。

7月、互いに育てた夏野菜で料理を作って、パーティーを開きました。緊張しながら足を踏み入れた教室でしたが、2年生と小学校の先生の笑顔を見て少し安心。さらに、テーブルの上に並べてくれていたピーマンとナスのピザのいいにおいに、パーティーへの期待が膨らみました。なんと2年生は、100人分の料理をたった20分ほどで完成させたらしい！その実力にびっくりしました。「まだまだ自分たちも、年中児や年少児にしてあげられることがありそうだな」と感じた瞬間でした。一緒に食べながら目の当たりにした2年生の姿に刺激を受け、いつも以上に食欲旺盛になった人もいます。

「幼稚園でもう一度パーティーをしたい」自分たちの生活を豊かにするアイデアと意欲が生まれてきたことでしょう。



始業式の準備はぼくらに任せて

2年生と一緒にヤゴをゲット！

2年生と一緒に泥団子づくり

教科学習の中での教育

④スタートカリキュラム
遊び→生活科→教科の流れを核に柔軟な時間枠を設定。
・スマイルママーずの新設
・入学式リハーサルの新設
・Oの姿と困りの把握

⑤合科的関連的な教科指導と生活科(日常の時間割へ)
・10の姿をもとに、様々な園から入学してきた子供の経験が活かされるようなプラン。

③ 体験入学と入学式前日のリハーサル

2月7日入学周知会を利用し、一般入学者、連絡進学者合同の体験入学を行いました。学校探検や小学生とのふれあいで期待が膨らみました。



小学校って楽しそう

入学式前日、会場準備が整った後、希望者によるリハーサルを行いました。

式の流れや呼名を経験することで安心して入学式を迎える準備が整いました。



いよいよ明日は入学式

○ 教科学習の中での教育へ



生活科「元気な野菜や花を育てるよ」



国語科「登場人物の気持ちを想像して劇で表そう『とんことん』」

幼稚期のあさがおなどを育てたときの感動体験を活かし、栽培範囲を広げ新しい友達と協力して栽培できるようにしました。

作物や友達と積極的にかかわり学びを深められています。

幼稚期に親しんだ読み聞かせ、絵本、ごっこ遊びなどを活かし、小学校で初めて学習する文学「とんことん」と「とんことん」を叙述をもとに劇化する学習を行いました。

登場人物の気持ちを自分事のように捉えることができました。

④ スタートカリキュラム (朝のなかよしタイム)

登校から約45分間、新しい友達や先生と仲良くなる時間を設けました。積み木、折り紙等、経験したことのある遊びを用意することで、自然と友達や先生やママーずさんと交流する様子が見られました。



積み木を重ねて



スマイルママーずさんと紙風船



仲良くドミノづくり

成果 (保護者アンケート調査より)

方法：一斉メールシステムを利用し、入学よりスタートカリキュラムが終了する5月半ばまで、金曜毎に、「①お子様は学校が楽しいと感じていますか」「②お子様は学校生活に不安を感じていますか」について4件法（はい、どちらかといえばはい、どちらかといえばいいえ、いいえ）と自由記述で尋ねた。

結果：楽しさ保持率（①に肯定的な回答をした割合）は、体験入学後100%、入学3日後98.2%、5月中旬93.3%といずれも高かった。不安感保持率（②に肯定的な回答をした割合）は、体験入学後61.5%、入学3日後37%（昨年度55%）、5月中旬11.4%（昨年度17%）とスタートカリキュラムを実施していなかった昨年度に比べ、入学後の不安感が激減した。

自由記述では、スタートブックや附板小型連絡帳（本校HP参照）、PTAウエルカムパーティーのピアサポート（p11参照）により、学校の様子や子供の楽しみと不安がよく分かりとてもよかった。調査があることで親子の会話がはずみ、なかよしタイムでいろいろな物や人ととかかわったこと等をたくさん話してくれて親としてもうれしいと好評であった。